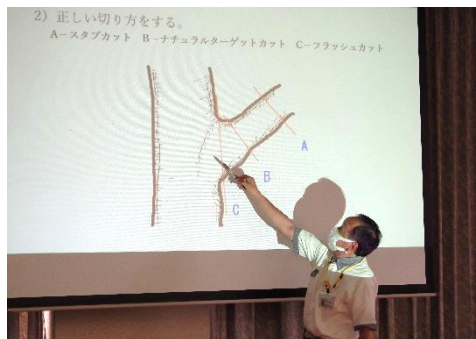


「春夏に行う身近な木の手入れ方法①」開催レポート

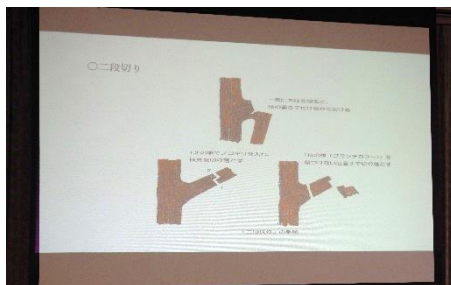
令和4年6月16日（桜花亭・花畑記念庭園ほか）

講習
内容

前半はテキストを使って講義を行いました。
切った方が良い枝の見極め方や、切り方について説明していただきました。
また、道具の種類と使い方もご紹介いただきました。



木を傷めないために、正しい位置で切ります。



ノコギリで枝を切る場合は、枝の重さで幹が裂けないよう“二段切り”をしましょう。



二段切りを実演していただきました。

太い枝や腐朽菌に侵されやすい樹木を切った場合は、腐朽菌の侵入を防ぎ、傷の回復を促すために、切り口に癒合剤などを塗ります。



講師 花本 光生先生

長年、区内の造園会社で造園業に従事。桜花亭の指定管理者として10年目、当初から副園長として運営、維持・管理に携わる。

実習

後半は受講者の方々に剪定実習をしていただきました。



花畑記念庭園内でクロマツの「みどり摘み」を体験しました。



隣接する花畑公園でオオムラサキツツジの剪定を体験しました。

参加者
の声

実践的でわかりやすく参加した甲斐があった。
（60代 初めての参加）

木の形の整え方や切る位置も理解できた。
（60代 初めての参加）

形を決めて、どんどん切っていく楽しさを感じることが出来た。
（70代 3回目の参加）